

# 医師臨床研修制度の改善に係る提言

一般社団法人全国医学部長病院長会議

初期臨床研修修了時における「育むべき医師像」、すなわち、救急医療の現場で患者を診察し、脳・心臓・呼吸器など生命にかかわる病態を理解し、適切な緊急処置を行い、必要に応じて専門医を呼ぶことなど一次対応ができる幅広い診療が可能な医師の養成のために、全国の指導医等を実施した医師臨床研修制度に関するアンケート結果を踏まえて以下の提言を行う。

1. 卒前卒後のシームレスな教育を実現するために、初期臨床研修終了後の専門医研修につながる卒前教育と連動した効率的な研修プログラムを構築し、真に日本の医療体制発展に資する医師を養成すべきである。
2. 2020年に導入される7診療科必修プログラムを早期に改善し、「育むべき医師像」を見据えた教育を実現するために診療能力の到達度を目標とした研修プログラムを構築すべきである。
3. 1および2を達成するために医師臨床研修制度の策定において日本における医師養成機関の合意形成組織である全国医学部長病院長会議とのより密接な連携を図る。